

壁掛洗面器・角型洗面器 取扱施工説明書

このたびは、壁掛洗面器・角型洗面器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 気をつけていただきたい「注意」を表します。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意

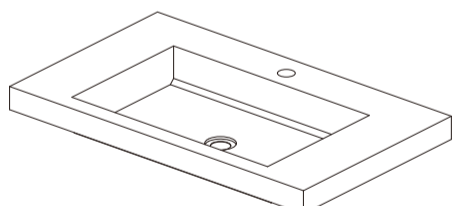
- 施工前に輸送中の破損がないか確認してください。
 - 施工される際、洗面器の角には十分にご注意ください。
 - 本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓（流量調整のできる器具）を取付けた配管に設置してください。
 - 施工される際、洗面器に強い衝撃（物を落とす、たたくなど）を与えたり、荷重（物をのせる、寄りかかるなど）をかけたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
 - 壁掛洗面器の取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。
 - 壁掛洗面器の取付面がタイル・コンクリートの場合は、付属のカールPCプラグを使用してください。取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。
 - 施工後の確認を必ず行ってください。
 - 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、洗面器の表面にキズや汚れがつかないように、梱包のビニールなどを使用し保護してください。
- 必ず実行**
- 角型洗面器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。
 - 指定位置には必ずシリコンコーキングなどのシーラ材（防カビタイプ）を塗布してください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。

使用上のご注意

- 禁止**
- 洗面器に強い衝撃（物を落とす、たたくなど）を与えたり、荷重（物をのせる、寄りかかるなど）をかけたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
 - 本品に熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
 - 洗面器が破損した場合は素手で触れないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
 - 洗面器が破損した状態で使用しないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 注意**
- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
 - 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。
 - 金属類（ヘアピン、カミソリの刃など）を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。

製品同梱明細

■施工される際に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。

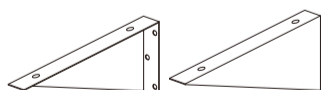


壁掛洗面器・角型洗面器



スペーサー

493-158・493-159・493-160のみ



ブラケット（×2）



ワッシャ（×12）



プラグ（×8）



固定ビス（×4）



トラスタッピングビス（×6）



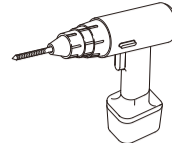
六角コーチボルト（×2）

施工に必要な工具

●プラスドライバー



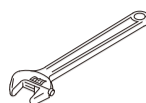
●電気ドリル



●ドリルの刃



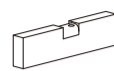
●モンキーレンチ



●ドライバービット
（200mm以上）



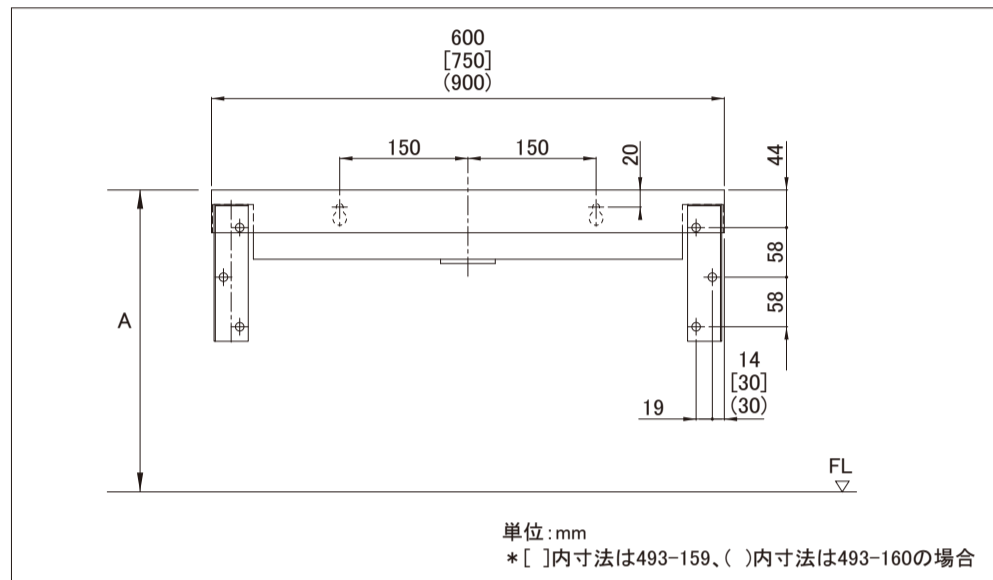
●水平器



*壁がコンクリートの場合に付属のプラグを用品ます。

ブラケット壁固定位置について（493-158・493-159・493-160）

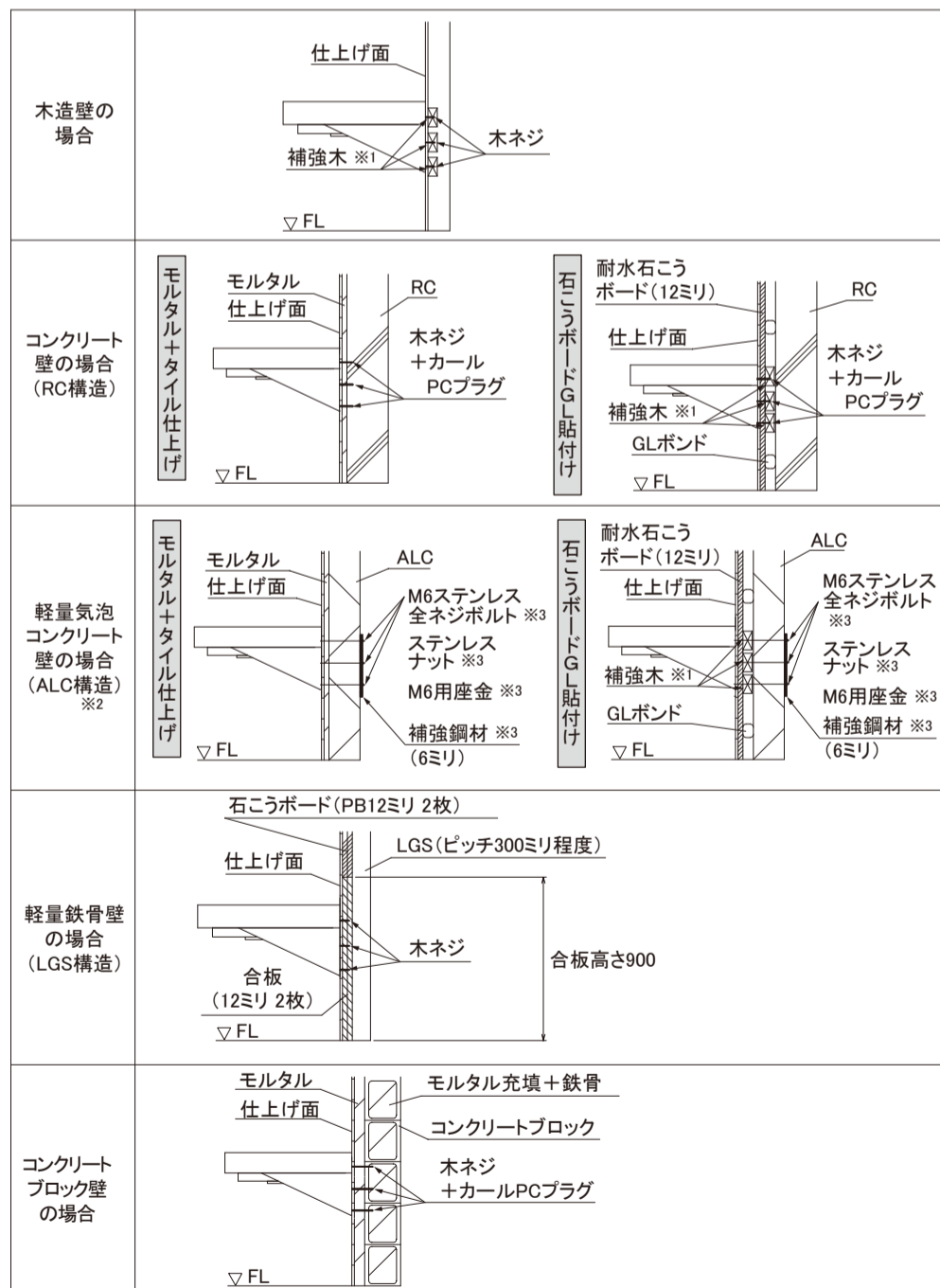
ブラケットを固定する位置には、壁構造別施工方法を参考に、壁の構造に応じた補強を行ってください。



単位：mm
* []内寸法は493-159、()内寸法は493-160の場合

A:洗面器設置高さ

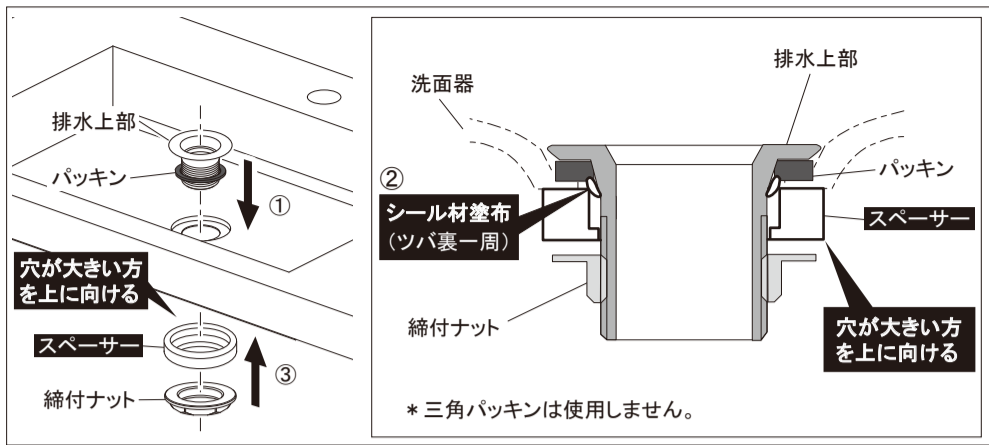
壁構造別施工方法



※器背面の六角コーチボルト部に関しても壁構造に合わせて施工してください。
※1) 木造壁、コンクリート壁（RC構造）、軽量気泡コンクリート壁（ALC構造）の場合、壁裏に補強木（幅90ミリ、厚さ45ミリ以上）が必要です。ブラケットの壁固定位置を参考に補強木を設置してください。
※2) 軽量気泡コンクリート壁（ALC構造）の場合、ボルトはALCの裏側まで貫通させて固定してください。
※3) 軽量気泡コンクリート壁（ALC構造）の場合、ボルトは現場にて調達してください。

取付方法

1. 排水金具(別売)を取付けます。



- ①パッキンがついていることを確認してから、排水上部を洗面器の穴に挿入します。
 - ②洗面器の裏面からツバ裏一周にシール材を塗布します。
 - ③図のように付属のスペーサーを穴が大きい方を上にして排水上部に通してから、締付ナットで締付けます。
- * 排水金具を取付ける際は付属の説明書等を参照してください。

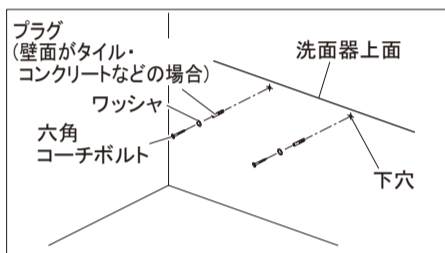
必ず実行

- 排水金具取付けの際は、必ず付属のスペーサーを取付けてください。スペーサーを使用しない場合、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキングなどのシール材を塗布してください。

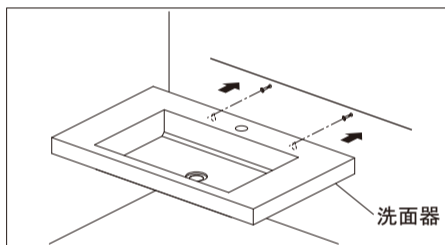
* 2. は品番により施工手順が異なります。

●493-158・493-159・493-160の場合

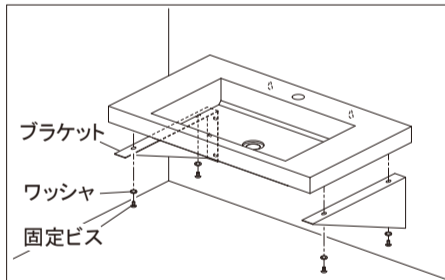
2. 洗面器を壁に固定します。



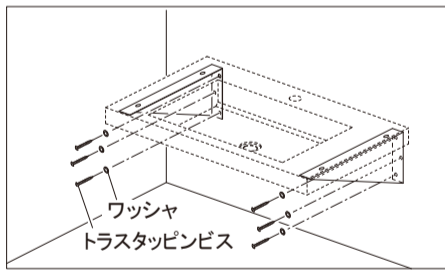
- ①洗面器を取付ける位置を確認します。
 - ②六角コーチボルト取付穴の中心位置に下穴(φ4.5~5)を開け、ワッシャ、六角コーチボルトを壁に仮固定します。
- * 壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴(φ8)を開け、同梱のプラグを打込んでください。



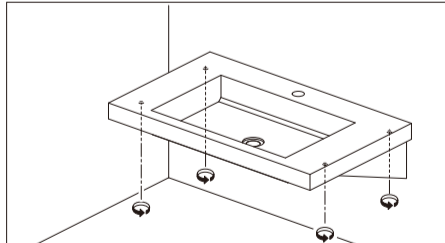
- ③洗面器を六角コーチボルトにセットします。



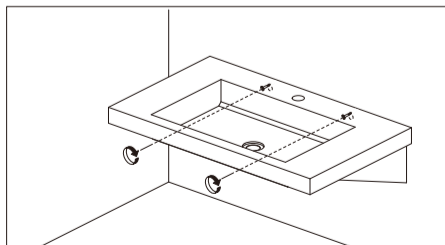
- ④ブラケットをワッシャ、固定ビスで洗面器に仮固定します。



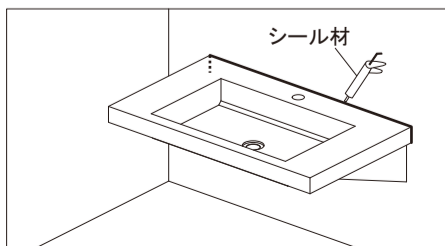
- ⑤ブラケットをワッシャ、トラストッピンビスで壁にしっかりと固定します。



- ⑥④の固定ビスを「プラスドライバー」でしっかりと固定します。



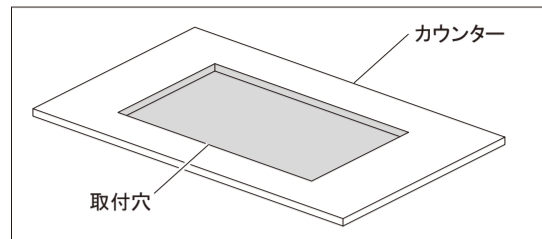
- ⑦②の六角コーチボルトを「レンチ」などでしっかりと固定します。



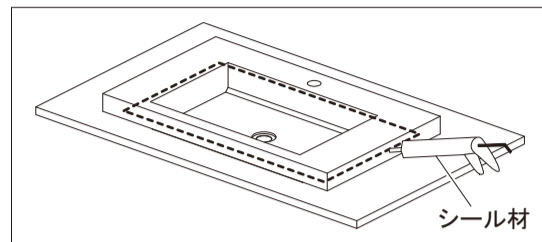
- ⑧洗面器と壁のすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

●493-162・493-163・493-164の場合

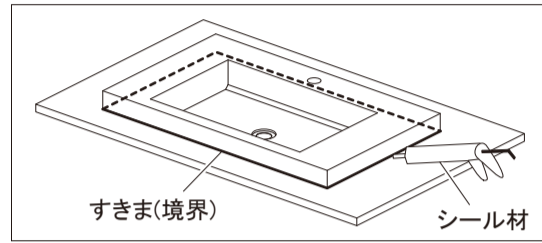
2. 洗面器を取付けます。



- ①洗面器を取付けるカウンターに指定の取付穴を開けます。
- * 取付穴は洗面器の仕様図面を参照してください。



- ②洗面器の裏側(カウンターに接する面)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



- ③洗面器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

* 以下は各品番共通です。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書を参照してください。

注意 施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。

取付後の確認

施工後の確認

* 施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認をしてください。

- ①取付状態の確認
ガタツキがないか、シール材またはボルトで確実に固定されているか、壁との隙間がないか、各部材の取付ネジが十分に締まっているか確認をします。
- ②水栓の吐水量の確認および調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に水もれがないか確認をします。
排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。

必ず実行 メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認および調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)